

教科	理科	科目	物理	単位	2単位	年次	3年次
使用教科書	第一学習社出版『高等学校 改訂版 物理』						
副教材	第一学習社『ビーライン物理』						

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

基本公式や基本的な原理・法則を理解することは、解法を導く上で重要です。物理における知識は工具のようなもので、適切な工具を選択することで、難題を解決していくことができます。まずは、引き出しの中の整理と工具の準備を怠らないことを意識してみましょう。計算速度も上がるように、一つ一つの問題を意識しましょう。

2. 学習の到達目標

基本問題から標準問題の解法を正確に判断できる。また、その解法を自分の言葉で適切に表現できるよう、情報を整理することができる。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観点の主旨	日常生活や社会との関連を図りながら物理現象の関係に関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物理現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	物理現象に関する観察、実験の手順や操作方法、実験結果をもとに、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物理現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況 課題	課題 小テスト 定期考査	課題 小テスト 定期考査	課題 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
4	運動とエネルギー	平面運動と放物運動	○	○	○	○	同範囲の基本事項が押さえられており、事項同士の関連性について理解し説明できる。	学習状況 課題 小テスト 定期考査	
5		剛体のつりあい 運動量の保存 円運動と単振動	○	○	○	○			
6	熱・波	気体の性質と分子の運動 波の性質 音波 光波	○	○	○	○			
7		力学と波動のまとめ	○	○	○	○			
9	電磁気	電場と電位 コンデンサー 電流	○	○	○	○			
10		電流と磁場 電磁誘導と交流	○	○	○	○			
11	原子	電子と原子 原子と原子核	○	○	○	○			
12	問題演習	標準問題 応用問題	○	○	○	○	・出題を読みとり、基本的な知識を用いて、適切な解答を導き出せる。 ・複雑な出題から、基本的な知識や知識の関連等を抽出し、適切な解答を導き出せる。		
1			○	○	○	○			
2			○	○	○	○			
3			○	○	○	○			

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現 c: 技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元 題材 で全ての観点について評価することとなるが、学習内容 小単元 の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点 について○を付けている。